

科目名	美道プロジェクトIB		Subject	BIDO Project IB				
サブタイトル	美道につながる感情マネジメント							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能	DP2 主体的行動力	DP3 課題解決能力	DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP6 美しく生きる力を実践できる能力
1年	後期	必修						
授業形態	単位	時間						
演習	1単位	30時間		○	○	◎		○
ゲストスピーカー招聘回	12							
教員名	池照 佳代			メールアドレス	kayo.iketeru@skycampus.jp			
教員の略歴	EOC 英会話学校講師、米国・ヨーロッパ企業5社（Mars, Ford Motors, adidas, Pfizer, Pall）にて人事、経営企画職に従事後、2006年 法政大学大学院イノベーションマネジメント研究科にて MBA（経営学修士）を取得。大学院在学時に㈱アイズプラスを設立し、代表取締役役に就任。主に企業向けに人事・経営顧問、人事アドバイザー、EQ（感情知性）、多様性、リーダーシッププログラム等を企画・講師業務を提供。著書：『感情マネジメント～自分とチームの「気持ち」を知り 最高の成果を生み出す～』2021年 ダイヤモンド社他							
実践的教育	グローバル企業の人事、組織開発管理職経験、および EQ 国際認定資格保有者の知識・経験を活かし、実践に即した授業を提供する							
オフィスアワー	授業の前後30分に直接声をかけてください。							

科目の概要								
「これから」の世界で必要とされ、ダボス会議でも世界中のビジネスパーソンに必須の能力とされる EQ（感情知性）を実践的に習得し、学校生活だけでなく日々のコミュニケーション、人生の中で活かせるスキルを習得する。EQ(感情知性) とリーダーシップを学び、自らが描く目的に向けて自ら感じ、考え、発信し、周囲を巻き込み目的に向けた行動発揮と社会変化への適応力発揮について演習中心に学ぶ。期末プロジェクトとして、授業の学びを総合して自らが描く「私の「美道」」の世界観を表現し、互いに発表しフィードバックすることにより、自他の感情豊かな人生とこれからの社会生活に貢献できる力をつける。授業全般を通して DP4 を重視した内容とし、各回の演習では DP2, DP3 の発揮を重視する。期末プロジェクトでは、DP2, 3, 4 を包括し、DP6 を重視したプレゼンテーションと相互フィードバックを重視する内容を予定する。なお、授業では各項目に沿った外部講師の参加を予定しており、おもに実社会での「感情マネジメント」と「リーダーシップ」についての理解を深める。また、各回には Teaching Assistant が参加し、参加生徒の授業理解を支援する。【複数教員担当方式】								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
-	-	○	○	○	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP2	感情が意思決定や行動に影響することを学び、自他の感情を理解し「ありたい姿（目的）」に向けて主体的に意見を述べると他と議論ができる							
DP3	データや心理学的理論をベースに社会的な視点やニーズを捉え、社会変化を理解しながら自らの考えをまとめ、意見を述べることができる							
DP4	個性を中心に自己理解を進め、多様な価値観、感情、思考、行動スタイル等の「違い」を理解し、受入れ、協働し、目的に向かってコミュニケーションをとることができる							
DP6	自己理解と他者理解、社会的な変化や文化を理解した上で「美しく生きる」について自らの考えをまとめ、表現する。対話を通して多様な意見や視点に触れ、互いに意見を出しコミュニケーションをとることができる							
教科書・教材								
教科書	教員作成資料							
参考文献	EQ+LAB. https://is-pluseq.com/							
各自準備教材	PC、タブレットなどの大きな画面があるデジタルデバイスが望ましい。イヤホン（マイク付きのもの）							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	-	-	10%~	20%	-	70%	-
本科目では、授業の内容を基に毎回課題を課します。期末プロジェクトでは、発表とレポートが課されます。課題、レポートは提出期日があります。なお、出席数の不足や不正行為があった場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
毎回の授業後に課題提出を求めます。個別にコメントする他、全体の学びになるコメントは次回授業内で講評として紹介することがあります。								
履修上の条件・注意								
・必ずイヤホンを持参し、ハウリングが起きないように対処すること。 ・オンラインでの受講に慣れていない場合は、事前に練習を行い遅刻しないように準備すること。 ・学校のオンラインルール、授業のグランドルール（第一回目の授業で紹介）に従うこと。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第1回	オリエンテーション	授業の概要、目的、グランドルール、到達目標を確認し、自身の学習計画をたてられる。	・授業の振り返り＆次回予習課題の提出（EQ チェックシート）	60 分
第2回	リーダーシップと感情について学ぶ	自己紹介により互いを知るこれまでの人生から自らが発揮したリーダーシップを抽出し、述べるができる。	・授業の振り返り＆次回予習課題の提出（感情ライフラインチャート）	60 分
第3回	感情知性の基礎について学ぶ	感情知性の全体像、概念を学び、説明できる。	・授業の振り返り＆次回予習課題の提出（感情マップ）	60 分
第4回	自己理解・自己マネジメントについて学ぶ （1）感情概念、自身の感情に気づくスキルを学ぶ	感情概念、自身の感情に気づくスキルを学び、授業内で実践し、自分のことを述べるができる。	・授業の振り返り＆次回予習課題の提出（自己認識、リーダーシップの理解）	60 分
第5回	自己理解・自己マネジメントについて学ぶ （2）自身の感情を動かし、マネジメントするスキルを学ぶ	「ありたい姿」に向けて自身の感情を動かす、マネジメントするスキルを学び、述べるができる。	・授業の振り返り＆次回予習課題の提出（自己マネジメント、QOL）	60 分
第6回	他者理解・働きかけ（1）について学ぶ 他者の感情理解の概念を学ぶ	他者の感情を知る視点、方法を学び、授業内で実践し、気づきを述べるができる。	・授業の振り返り＆次回予習課題の提出（他者理解、アンコンシャス・バイアス）	60 分
第7回	他者理解・働きかけ（2）について学ぶ 他者への働きかけについて学ぶ	「ありたい姿」に向けて他者を巻き込み、働きかける手法を学び、授業内で実践し、気づきを述べるができる。	・授業の振り返り＆次回予習課題の提出（コミュニケーション）	60 分
第8回	レジリエンス・ストレスマネジメントを知り、学ぶ	ストレスとストレスマネジメントについて学び、自身の経験と結びつけて理解を深め、述べるができる。	・授業の振り返り＆次回予習課題の提出（レジリエンス・ストレスマネジメント）	60 分
第9回	アサーティブコミュニケーションを知り、学ぶ	アサーティブコミュニケーションについて学び、ケーススタディを用いて議論することができる。	・授業の振り返り＆次回予習課題の提出（アサーティブコミュニケーション）	60 分
第10回	目的達成と感情マネジメントについて学ぶ 【対面授業】	期末課題に向けた目標設定、感情マネジメントを統合的に学び、「私の「美道」」を描く準備について述べるができる。	・授業の振り返り＆次回予習課題の提出（目的達成と感情マネジメント、PRES）	60 分
第11回	「私の「美道」」プロジェクト（1）プロジェクトの概要について学ぶ	プロジェクトについて学び、「私の「美道」」プロジェクトシート作成、内容を学生同士互いに述べるができる。	・プロジェクトシート作成	60 分
第12回	「私の「美道」」プロジェクト（2）インタビューについて学ぶ 【ゲストスピーカー：吉田和子、谷本佳子、末永千絵、吉竹綾子】（各クラス担当予定）	インタビュー手法について学び、「私の「美道」」プロジェクトの発表の準備を進め、学生同士でインタビュー項目を作成し互いに述べるができる。	・発表資料作成	60 分
第13回	「私の「美道」」プロジェクト 発表（1）発表を聴き、フィードバックの概要を学ぶ	「私の「美道」」プロジェクトを発表し、フィードバックを得て、自分なりの気づきを述べるができる。	・フィードバックシート作成	60 分
第14回	「私の「美道」」プロジェクト 発表（2）発表を聴き、フィードバックの具体的方法を学ぶ	「私の「美道」」プロジェクトを発表し、フィードバックを得て改善点を見出し自分の言葉で述べるができる。	・フィードバックシート作成	60 分
第15回	「美道」と感情マネジメントについて学び、ダイアログ（対話）を通して学んだことを互いに述べる	授業を振り返り、自身の感情を中心とした意識と行動の変化について、意見交換することができる。	・レポート提出	60 分